

株式会社 **クリエイイト SD ホールディングス**



2016年5月期 第2四半期 決算説明会
2016年1月15日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性がございます。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:笠井・田村(TEL 045-914-8241)

2016年5月期 第2四半期 決算説明会

■2016年5月期 第2四半期累計 連結実績

1. 損益計算書
2. 貸借対照表
3. キャッシュフロー計算書
4. 株式の分割について

■主な事業会社の実績

1. 損益計算書
2. 出店
3. 部門別実績
4. 売上高
5. 売上総利益
6. 調剤部門
7. 販管費

■2016年5月期 下期の取組み

1. 成長および効率化のための積極的な投資
2. 健康サポート薬局の推進

■2016年5月期 計画

1. 2016年5月期の計画

2016年5月期 第2四半期累計 連結実績

1. 2016年5月期 第2四半期累計のPL(連結)

	2015.5期 第2四半期累計 実績 (連結)		2016.5期 第2四半期累計 実績 (連結)			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	104,559	100.0	113,721	100.0	108.8	101.9
売上総利益	27,335	26.1	30,885	27.2	113.0	104.0
販売管理費	23,085	22.1	24,154	21.2	104.6	98.7
営業利益	4,250	4.1	6,731	5.9	158.4	128.9
経常利益	4,457	4.3	6,933	6.1	155.6	129.6
四半期純利益	2,750	2.6	4,502	4.0	163.7	133.2

2. 2016年5月期 第2四半期のBS(連結)

(単位:百万円)

	2015.5期末 (連結)	2015.11末 (連結)	増減
資産合計	88,767	92,271	+3,504
流動資産	51,512	54,879	+3,367
固定資産	37,254	37,391	+137
負債合計	42,807	42,530	▲276
流動負債	39,384	38,993	▲391
固定負債	3,422	3,537	+114
純資産合計	45,960	49,740	+3,780
負債・純資産 合計	88,767	92,271	+3,504

主な増減要因

資産合計

【増加要因】

- ・純利益の増加および投資減少による現金の増加

2,509百万円増加

- ・商品

740百万円増加

負債合計

【増加要因】

- ・ポイント引当金

90百万円増加

【減少要因】

- ・未払金

376百万円減少

- ・未払消費税等

365百万円減少

純資産合計

【増加要因】

- ・四半期純利益の計上

4,502百万円

【減少要因】

- ・配当金の支払い

▲737百万円

3. 2016年5月期 第2四半期累計のCF(連結)

(単位:百万円)

主な増減要因

	2014.11末 (連結)	2015.11末 (連結)	増減
営業活動による キャッシュフロー	5,148	5,122	▲26
投資活動による キャッシュフロー	▲2,979	▲1,874	+1,105
財務活動による キャッシュフロー	▲5,269	▲737	+4,532
現金及び現金同等物 の増加額	▲3,101	2,509	+5,611
現金及び現金同等物 の期首残高	19,335	20,268	+933
現金及び現金同等物 の期末残高	16,234	22,778	+6,544

営業活動によるキャッシュフロー

- ・税引前当期純利益 +2,521百万円
- ・法人税の支払 ▲1,205百万円
- ・仕入債務 ▲1,156百万円
- ・ポイント引当金 ▲410百万円

投資活動によるキャッシュフロー

- ・出店、改装による投資 +978百万円
- ※OTC新規出店11店舗(前期差 ▲8)

財務活動によるキャッシュフロー

- ・前期 特殊要因として
自己株式の取得 ▲4,392百万円

4. 株式分割について

2015年 12月16日を効力発生日として、
1株を3株の割合で株式分割を実施

総発行株式数を増やすことで市場での流動性を高める

1単元の投資金額を引き下げることで投資家層の拡大を図る

期末の1株当たりの配当金額(予想)を35円から
12円(換算前配当金額36円※1/3の端数切り上げ)に
変更することで、実質増配とした

主な事業会社の実績

1.2016年5月期 第2四半期累計のPL (クリエイトエス・ディー)

	2015.5期 第2四半期累計 実績		2016.5期 第2四半期累計 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	103,788	100.0	112,860	100.0	108.7	101.9
売上総利益	27,333	26.3	30,904	27.4	113.1	104.1
販売管理費	23,331	22.5	24,453	21.7	104.8	98.8
営業利益	4,002	3.9	6,450	5.7	161.2	130.7
経常利益	4,173	4.0	6,647	5.9	159.3	131.3
四半期純利益	2,586	2.5	4,313	3.8	166.8	133.7

2. 出店

新店 OTC11店舗 併設薬局2店舗

地域別出店状況

		神奈川	東京	静岡	千葉	その他	合計
2016.5期 2Q累計 出店数	OTC	6	1	2	1	1	11
	併設薬局	0	0	0	2	0	2
	専門薬局	0	0	0	0	0	0

退店: スクラップ&ビルド 2店舗 契約期間満了 1店舗

		神奈川	東京	静岡	千葉	その他	合計
2016.5期 2Q 期末 店舗数	OTC	251	78	66	24	36	455
	併設薬局	66	19	12	3	10	110
	併設率	26.3%	24.4%	18.2%	12.5%	27.8%	24.2%
	専門薬局	17	7	0	3	2	29

開発人員を増員し、店舗開発体制を強化

3. 部門別実績

	2015.5期 第2四半期累計 実績			2016.5期 第2四半期累計 実績		
	売上高 ＜百万円＞	構成比 （％）	前期比 （％）	売上高 ＜百万円＞	構成比 （％）	前期比 （％）
医薬品	23,250	22.4	109.5	25,992	23.0	111.8
O T C	17,037	16.4	103.3	18,104	16.0	106.3
調剤	6,213	6.0	131.0	7,888	7.0	127.0
化粧品	15,845	15.3	102.9	16,813	14.9	106.1
食料品	39,698	38.2	113.9	43,392	38.4	109.3
日用雑貨品	18,799	18.1	105.3	19,926	17.7	106.0
その他	6,194	6.0	105.4	6,735	6.0	108.7
合計	103,788	100.0	109.0	112,860	100.0	108.7

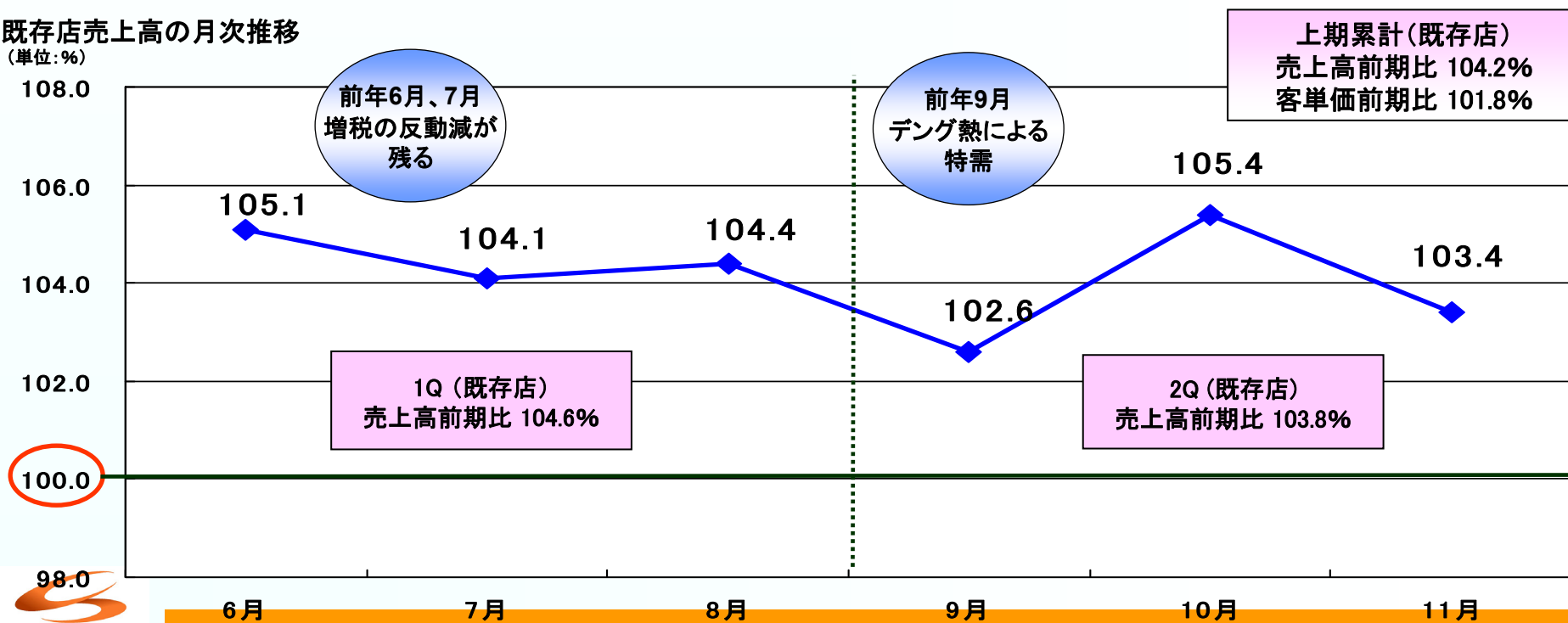
*“その他”の部門には 文具・ベビー用品・衣料品・ペット・園芸・DPE等が含まれます

4. 売上高

上期累計 前期比 108.7% 計画比 101.9% 既存店前期比 104.2%

- ・食料品部門、調剤部門が堅調に推移し、全体を押し上げた
- ・市場の値上げを受けて、単品ごとに価格をコントロールしたことで一品単価が上昇
- ・改装及び品揃えの拡充による既存店の活性化

既存店売上高の月次推移
(単位:%)



4. 売上高

OTC既存店の改装

上期 **20店舗**実施

- ・食料品、化粧品、日用品の売場構成の見直し
- ・精肉の導入拡大（11月末 精肉取扱店舗数 **257店舗**）
- ・都心型店舗のMDの変更

調剤部門

調剤既存店前期比 **120.5%**

- ・過去3年間で集中的に出店してきた調剤薬局の売上が堅調に推移し、全体の売上高を押し上げた

5. 売上総利益

売上総利益率 27.4% 前期差 +1.1pt 計画差 +0.6pt

核カテゴリー商品の展開強化

- ・価格訴求品と価値訴求品を併せて展開することにより
荒利ミックスで利益を確保
- ・シーズン品の早期展開による販売訴求
- ・市場の値上げに合わせた価格調整

調剤部門の構成比が上昇

- ・利益率の高い調剤部門が堅調に推移
⇒売上構成比が上昇したことで売上総利益率を押し上げた

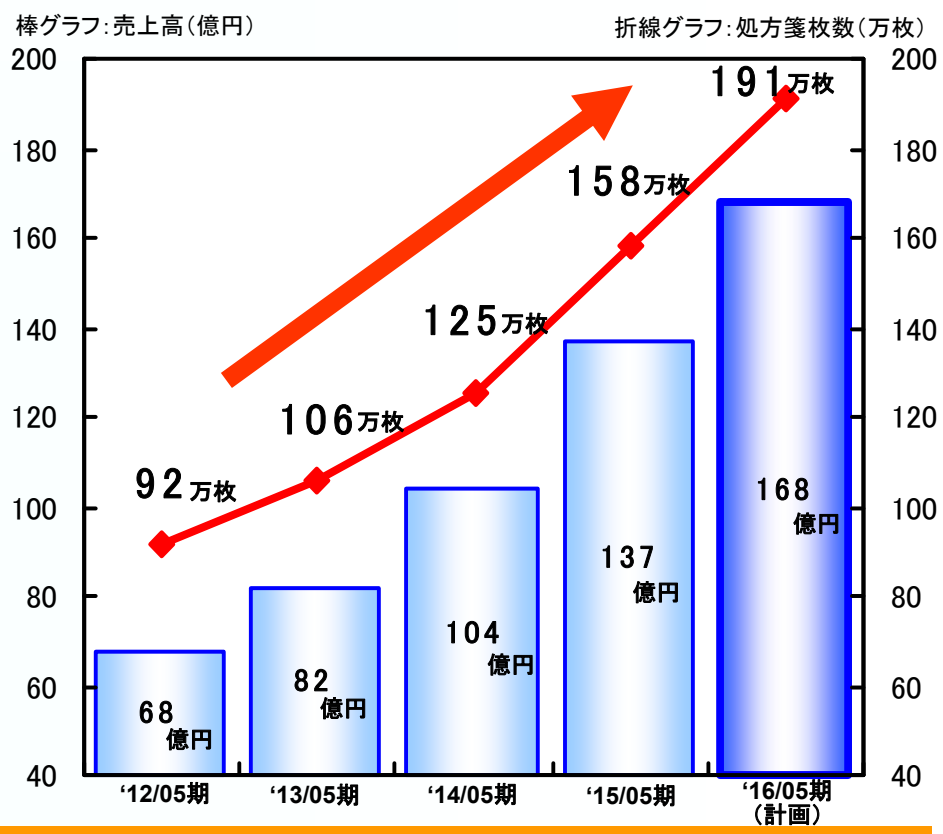
6. 調剤部門

	2016.5期第2四半期累計 実績		
	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	7,888	100.0	127.0
売上総利益	3,165	40.1	123.9

・後発医薬品の使用促進
 使用率は **61.3%**(数量ベース)
 ・訪問服薬指導の強化
70施設で実施(前期差 **+5施設**)

既存店前期比
売上高 120.5%
処方箋枚数 112.9%

調剤部門の売上高・処方箋枚数推移



7. 販管費

前期比 104.8% 計画比 98.8%

様々なコスト削減に取り組み、計画内で運用

水道光熱費 計画比 89.5%

- ・店内照明のLED化、店舗での節電対策により、電気使用量を削減
- ・原油価格の下落による燃料調整費単価のダウン

人件費 計画比 99.5%

- ・作業の見直しと人員配置の見直しによる時間外の削減

建築コスト

- ・店舗の仕様や陳列備品の見直し、什器などの競争入札により建築コストの上昇を抑制

2016年5月期 下期の取組み

1. 成長および効率化のための積極的な投資

改装による既存店の活性化

品揃えの拡充

- ・精肉、青果の品揃えの拡大
- ・冷凍食品・日配品の品揃えの充実
- ・フーズを強化した大型店の改装
- ・従来、取扱いのなかった雑貨品の導入

什器・備品の刷新

- ・化粧品売場のLED照明化および什器の刷新
- ・日用品売場の什器仕様の見直し

1. 成長および効率化のための積極的な投資

店舗設備の刷新

- ・店舗照明LED化の追加投資
- ・備品の拡充による作業効率化
- ・内装・看板・駐車場の整備

調剤薬局の改装と設備投資

- ・調剤機器の投資による作業効率の改善
- ・既存薬局の拡張
- ・在宅拠点、調剤研修センターの新設

2. 健康サポート薬局の推進

かかりつけ薬局

- 人材の育成・教育、研修内容の充実
- 設備投資によるオペレーションの改善
- 地域医療との連携強化
- 個人在宅への訪問服薬指導を強化
- 健康相談会の内容の充実、血液検査の実験導入

大学病院前薬局の開局

- 無菌調剤室を備え、在宅対応もできる調剤薬局を開局
- 薬剤師の臨床教育の場の拡充

2016年5月期 計画

2016年5月期の計画(連結)

	2015.5期(連結実績)		2016.5期(連結計画)		
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	213,918	100.0	227,300	100.0	106.3
売上総利益	57,516	26.9	61,000	26.8	106.1
販売管理費	46,787	21.9	49,860	21.9	106.6
営業利益	10,728	5.0	11,140	4.9	103.8
経常利益	10,982	5.1	11,400	5.0	103.8
当期純利益	6,561	3.1	7,030	3.1	107.1

現時点では通期の業績予想の修正はございません。
 今後の業績動向を注視し、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。